


ミラクル・リナックス株式会社 様

- 導入機種 ▶ YVC-1000:1台、PJP-20UR:5台
- 導入時期 ▶ 2015年2月
- 基本構成 ▶ 本社移転のタイミングで、全会議室に Chromebox、180°広角Webカメラ、GoogleハングアウトにYVC-1000/PJP-20URを組み合わせたシステムを設置。海外拠点や海外の協力会社とプロジェクトごとの定例会議を実施中。



新オフィス移転に伴い、会議室のWeb会議システムを YVC-1000/PJP-20UR + Chromebox に刷新！

YVC-1000 導入の背景

 音質面の不満を払拭する、Chromeboxに最適なマイクスピーカーを模索！

- 本社移転を機にWeb会議システムを刷新
- Chromeboxに最適な組み合わせを模索
- デザインも選択の重要な要素

ミラクル・リナックス様は、2000年に国産のLinux OSベンダーとして創業。以来、LinuxサーバOSの提供、さまざまな分野に広がるLinuxの開発、オープンソースソフトウェア(OSS)を主軸にした事業を展開しています。今回、本社移転のタイミングで、全会議室に、Chromebox、180°広角Webカメラ、Googleハングアウトを組み合わせたWebカンファレンスシステムを構築。マイクスピーカーシステムとしてヤマハのYVC-1000/PJP-20URを見玉会長自らがセレクトしてテスト。音質面はもちろん、Chromeboxとの相性の良さや、容易な操作性と会議室に据え置いてもさりげなく溶けこむデザインを評価、導入を決定しました。

YVC-1000 を選択した理由

 音質、デザイン、使いやすさ。見玉会長のこだわりに応えたマイクスピーカー！

- 複数会議で使える場合のマイクスピーカーを選択
- YVC-1000/PJP-20URの音声品質に満足
- 新オフィスの会議室に溶けこむデザイン

これまで海外拠点やオフィス外との定例会議を実施中に、他のWebカンファレンス用のマイクスピーカーを3種類ほど使用していましたが、ひとりなら良くても人数が増えてくるとマイク品質が悪く声を拾えないなど、マイク品質に不満がありました。また、会議を開催することに事前にシステムを準備する手間がかかるなど、解決すべき問題を抱えていました。そこで、新オフィスへの移転を機にWeb会議システムを見直しました。マイクスピーカーについては、代理店などを通さず、見玉会長自らが選択。ヤマハの機器貸出制度を利用して、Chromeboxによる動作を検証した上で、音声品質とデザインの良さを総合的に判断した結果、YVC-1000/PJP-20URを選択。新オフィスの全ての会議室に導入しました。

YVC-1000 導入の成果

 狙い通りのストレスのないWeb会議システムを構築！

- 圧倒的な音声品質でストレスフリー
- 海外拠点からも高評価
- Web会議システムを常設、時間コストを削減

日中韓での共同プロジェクトでは、3拠点を結んで隔週の頻度でWebカンファレンスが行われます。中国と韓国の拠点は従来からのWeb会議システムを使用しているにも関わらず、新オフィスでYVC-1000を使用したところ、中国側も韓国側も音声品質が全然違って聞き取りやすいという評価でした。また、開発者によるベトナムとのWeb会議も週2回程度実施。これまで聞き取りにくかったベトナム人スタッフの英語も聞き取り易くなりました。こうした音声品質のアップにより、Webカンファレンスにおけるストレスがなくなり、効率が上がりました。またChromebox + YVC-1000/PJP-20URを会議室に常設することで、会議システムの事前準備の必要がなく、時間コストの削減につながりました。

ユーザー様の声

Chromebox+YVC-1000は、
Webカンファレンス用として最強の組み合わせだと思っ!

当社のWebカンファレンスは主にベトナム、中国、韓国などの拠点と結んで行われますが、英語が母国語ではないスタッフ同士での会議のため、音声品質が重要になります。これまで使用していた機器でのWebカンファレンスは、コミュニケーションロスによるストレスがかなりありました。そこで、Chromeboxと組み合わせ使用できるマイクスピーカーを私自身が探して、貸出プログラムを利用して検証。Chrome OSを積んだChromeboxにも問題なくつながり認識しました。音質については、ベトナム人スタッフの英語は最後の音が抜けるため、聞き取りづらい面がありましたが、YVC-1000/PJP-20URではよく聞こえます。相手側の機器は変わっていないのに、音質面が明らかに改善されたことで導入を決めました。Chromeboxは、小型のPCですが、HDMIとディスプレイポートの2系統の出力があるので、大会議室は2画面を使ってカンファレンスを行います。共有する画面とプレゼンテーション時に必要な情報を見るモニター画面を使い分けられるので大変便利です。また、YVC-1000の高級感がありながら会議室に溶けこむデザインも気に入っています。据え置きにして会議室に常設するのに、最適なデザインだと思います。私はChromeboxとYVC-1000/PJP-20URは最強の組み合わせだと思います。



ミラクル・リナックス株式会社
取締役会長
児玉 崇 様

シンプルで高級感があるので、会議室に置いておくのに良いと思います。移転前のオフィスでは、会議室にいろいろな機器がありましたが、机の上に配線がごちゃごちゃあり、機械自体も大きくて資料を出すときも邪魔になっていました。YVC-1000/PJP-20URは、すっきりした印象で、お客さまを気持ちよく迎えられると思います。

会議室がすっきりとして、
会社のイメージもアップ。

シンプルで高級感があるので、会議室に置いておくのに良いと思います。移転前のオフィスでは、会議室にいろいろな機器がありましたが、机の上に配線がごちゃごちゃあり、機械自体も大きくて資料を出すときも邪魔になっていました。YVC-1000/PJP-20URは、すっきりした印象で、お客さまを気持ちよく迎えられると思います。



マーケティング本部
マーケティングコミュニケーション部 部長
椎名 麻美子 様

ミラクル・リナックス様の遠隔コミュニケーション

設置機器組み合わせ1



- Chromebox + ワイヤレスキーボード&マウス
- 短焦点プロジェクター
- 21.5インチモニター (Chromeboxは、プロジェクターと21.5インチモニターのDual画面で利用)
- YVC-1000 + 拡張マイク1個
- 180° 広角Webカメラ

設置機器組み合わせ2



- Chromebox + ワイヤレスキーボード&マウス
- 52インチ 液晶ディスプレイ
- PJP-20UR
- 180° 広角Webカメラ

〈ミラクル・リナックス 様の概要〉

- 設立:2000年6月1日
- 本社:〒160-0022 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア7階
- 事業内容:国産Linux OSベンダーとして創業。LinuxサーバOSの提供、さまざまな分野におけるLinuxの開発、オープンソースソフトウェア(OSS)を主軸にした事業を展開。企業向け統合監視ツールMIRACLE ZBXのビジネスや、オンプレミスとクラウド環境などを運用統合するOSSソフトHatoholを開発。

<http://www.miraclelinux.com/>

●本資料に記載された製品名は、各社の商標です。



YVC-1000/PJP-20UR の製品情報はこちら

<http://jp.yamaha.com/products/communication/>



感動をともに創る

製造元
ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
2015年6月作成

音声コミュニケーション機器お客様相談センター

■ お電話によるお問い合わせ先 ☎03-5651-1838 ■ FAXによるお問い合わせ先 ☎053-460-3489

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

メールでのお問い合わせはこちら <http://jp.yamaha.com/products/communication/support/>